

～「読みたい・識りたい」そういう図書館がある～

### BOOK TIME

テーマ：申

さる

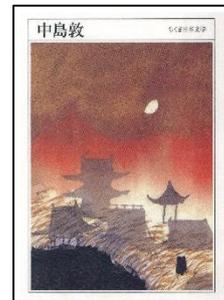
今年の干支である「申」にちなんだ本をご紹介します。  
新しい年のはじめの1冊にいかがでしょう。



#### 『悟浄歎異』中島 敦／著（『中島敦 ちくま日本文学 012』筑摩書房 収録）

架空の猿のヒーローと言えば、孫悟空。この作品では、沙悟浄の目に映る孫悟空の姿が描かれています。圧倒的な輝きを放つ孫悟空と行動を共にする沙悟浄の複雑な心境が垣間見られます。十二支つながりで、同著者の『山月記』と併せてお勧めします。

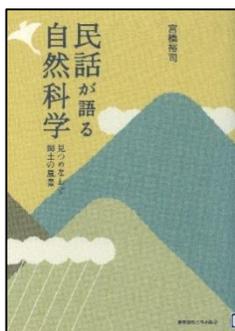
(A. K)



#### 『民話が語る自然科学 見つめなおす郷土の風景』

宮橋 裕司／著 慶應義塾大学出版会

大分県に伝わる『猿と蟹』は『猿蟹合戦』をモチーフとした民話です。「なぜ猿のお尻は赤いのか」「なぜあの脇役たちが登場するのか」。民話で語られていることを自然科学の視点から見直し、古の日本人が持っていた自然観を感じ取ることで、たくさんの気づきが生まれます。(N. Y)



#### 『あらすじで読む名作能50』

多田 富雄／監修 森田 拾史郎／写真 世界文化社

猿と呼ばれた秀吉等、時の権力者も愛好したとされる能楽。能楽は古く猿楽と呼ばれ、その名の通り、猿と繋がりがありました。本書では、600年の歴史の中に誕生した名作の能のあらすじが紹介されており、能舞台や鬼・武将・動物等の演者や面の記載もあります。お話から能に触れてみませんか。(A. W)



#### 『日本一の女』齊木 香津／著 小学館

歯に衣着せぬ物言いから、家族にすらいい顔をされなかったサダ。それでも彼女は自分の生き方を変えることなく、たくさんの子どもを産み育てました。時は流れ、もうすぐサダの三十三回忌。サダの曾孫・菜穂子が聞かされる、「サル」と呼ばれた女の物語です。(M. K)



### MUSIC TIME

#### 『ドヴォルザーク チェロ協奏曲 ほか』

ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ／チェロ 小澤 征爾／指揮  
ボストン交響楽団／演奏 RVC株式会社

ドヴォルザークのチェロ協奏曲はあらゆるチェロ協奏曲の中で最高傑作とされます。当時58歳のチェリストが奏でる技巧的で美しい旋律と、演奏者のパフォーマンスを存分に引き出す指揮そしてオーケストラによる情感豊かな表現がひとつになった演奏に心を動かされる1枚です。(A. O)



ビジネスに役立つ情報が満載！

# 行政購入資料の二次活用

を始めました

## ★行政購入資料とは・・・

市役所の各課で購入もしくは寄贈をうけている雑誌・パンフレットなどです。

長岡市では先進的な事業の調査や基本事項を調べるため、各課において業務用として本や雑誌を収集・購入しています。一般の書店では販売していないような専門的な図書や雑誌を購入したり、関係する業界団体が発行する専門誌などの寄贈をうけたりしています。特に寄贈される専門誌については、一般の方が目にする機会はほとんどありません。



## ★二次活用を始めました！！

そこで、各課で保存期間が終わった資料を図書館が収集し、保存・提供することにしました。

市民のみなさんの目にする機会の少ない資料から、実は探していた情報に巡り合えることもあるかもしれません。

雑誌コーナー脇にございます。ぜひ、お手に取ってご覧ください。

※館内のコピー機で複写することができます。(有料)

※貸出はできません。

## ★たとえばこんな資料があります

### 『LIFE DESIGN REPORT』

(株) 第一生命経済研究所ライフデザイン研究本部／発行

生活に関連した、ユニークな研究やアンケート調査の結果が公表されています。

ちなみに、2015年7月のレポートは、「企業内の障害者に対する理解促進の取り組み」「祖父母による孫育て支援の実態と意識」などです。

孫育て支援の実態について、8割の祖父母が「子育ては祖父母を頼らず、親自身で行うべき」と答えており、さらに6割の祖父母が「子育ては親自身が行うべきだが、頼まれれば引き受けるべき」と複雑な意識を抱いているという結果が書かれています。意外でしょうか？納得でしょうか？



### 『清・飲・彩』

社団法人全国清涼飲料工業会／発行

清涼飲料の生活上の役割や業界の取り組みや活動を伝える季刊広報誌です。

2015年夏号は、発行の全国清涼飲料工業会60周年記念号。清涼飲料水の歴史が特集されています。外資系飲料が上陸しコカ・コーラなどが販売された50年代、世界初の缶入りコーヒーが発売された69年など、なつかしい記述が満載です。



図書館の新設や4月から施行される「障害者差別解消法」への対応などから、公共図書館での電子書籍貸出サービスは年々増えています。電流協がまとめた「公共図書館電子図書館・電子書籍サービスアンケート結果2015」では、全国で54館が電子書籍貸出サービスを実施していると回答しています(公共図書館数は3,246館。アンケートは中央館のみ1,352館を対象)。

電子図書館＝電子書籍貸出サービスと思われがちですが、①電子書籍貸出サービスも含め、②国会図書館デジタル化送信サービス、③データベース、④自館デジタルアーカイブ、⑤デジタイズ図書、⑥音楽配信なども電子図書館のサービスです(当館では②～④、⑥を実施)。電子書籍貸出サービス＝新

刊のベストセラーが読めるサービス、と考えている人も多いかと思いますが、そうではありません。図書館側では、電子書籍への期待は大きいのですが、コンテンツ数や価格、新刊が提供されにくいなどの懸念から、導入に踏み切れないというのが実情です。

出版社側から見ると、電子書籍貸出サービスを実施する図書館が増えないと、コンテンツ数の増加や価格の問題は解決しないという状況があり、「鶏と卵のどちらが先か(出版社側か図書館側か)」という状態となっていると言います。

中央図書館では、出版界や図書館界の情報収集に努め、引き続き導入に向けた研究をしていきたいと考えています。

(金垣 孝二)

## 中央図書館所蔵資料紹介 No.147 山本老迂斎 画 雨龍

ろううさい

山本老迂斎(1718～92)は享保3年、長岡藩の家老・山本帯刀左衛門家に生まれ、4代藩主の牧野忠寿から9代藩主忠精にいたるまで約五十年間つかえ、藩政に深くたずさわりました。名前は義方、のちに忠精の一字をもらい精義、通称勘右衛門と言ひ、号は兢々斎、老迂斎とします。

儒学者伊藤仁斎の子、竹里に古義学を学び、宝暦5年(1755)には家塾「書堂」を開き、老迂斎みずから藩士に講義を行いました。これを基礎として、文化5年(1808)忠精により長岡藩校崇徳館が創設されるのです。

老迂斎は、藩の儒学者である高野栄軒・余慶父子とともに、藩士の学問の興隆をはかります。また和歌や茶道、香道をたしなんだ老迂斎は、画才もあったようです。

吉祥の象徴である雨龍の画は、藩主忠精が得意としました。老迂斎の描く雨龍は、打ち出の小槌から、どんな願いもかなえるという宝珠が3つ踊りでています。署名は兢々斎、落款は義直。藩主との信頼関係があつてこそ表された一幅と思われます。

この魅力的な雨龍は、どんな幸運をもたらしたのでしょうか。

(小熊 よしみ)

☆1月5日(火)～31日(日)まで中央図書館のエントランスで展示予定です。



# 1月～3月 イベント



## 映画会

★入場無料・申込不要 ※時間表記のないものは14:00～

- 1/13 (水) 「マリア・カス ホパと美食」 2007年/イタリ (52分)
- 1/29 (金) 「禁じられた遊び」 1952年/フランス (86分)
- 2/9 (火) 「宮城野」 2008年/日本 (76分)
- 3/6 (日) 東日本大震災関連映画会
  - ①10:30-11:50 「Dear Fukushima, フェルグイからの手紙」 2012年/ロシア・ウクライ (75分)
  - ②14:00-15:50 「遺体 明日への十日間」 2013年/日本 (105分)
- 3/23 (水) 「リトル・ショップ・オブ・ホーズ」 1960年/アメリカ (72分)

## 講座



### 「子どもと楽しむ季節のわらべ歌」【2回連続】

- 〈第1回〉1/16 (土) 「春から夏のわらべ歌を中心に」
- 〈第2回〉1/30 (土) 「秋から冬のわらべ歌を中心に」

※ 大人向けの講座です。お子さまは参加できません。

◆講師：伊藤美智子氏 (野いちご文庫スタッフ)



- ◆時間：10:00-12:00
- ◆会場：2階美術センター
- ◆定員：50人 (先着)
- ◆対象：高校生以上
- ◆申込：12/15 (火) から  
窓口・電話で受付
- ◆一時保育：対象6ヶ月以上  
(先着5人) 締切：1/9 (土)

### 1/17 (日) 文化講座「地名にみる長岡の歴史」

長岡各地の地名を取り上げ、その由来などを解説。



- ◆講師：今井雄介氏 (長岡郷土史研究会顧問)
- ◆時間：14:00-16:00 ◆会場：2階講堂
- ◆定員：180人 (先着) ◆対象：高校生以上
- ◆申込：12/15 (火) から受付中

### 栃尾美術館 ★展覧会情報★

- 1/24 (日) まで「第9回 ながおかのこども作品展」
- 1/30 (土) ～2/28 (日) 「ふるさとのこどもたち展」
- 2/13 (土) ～2/28 (日) 「アートクラブグランプリ長岡巡回展」
- 3/5 (土) ～3/31 (木) 館所蔵品展

## 講演会

3/27 (日) 文芸講演会

「漢詩人にして外交官 堀口九萬一」  
 昨年、生誕150年・没後70年の節目を迎えた長岡出身の堀口九萬一 (ほりぐち・くまいち) を取り上げます。  
 詩人堀口大學の父として知られる九萬一ですが、外交官として大きな功績をあげた人物であると同時に、漢詩をよくし、フランス語に通じ、文学の素養も深い教養人でした。このたびの講演では、九萬一の事績を振り返り、長岡が生んだ一人の日本人の姿をよみがえらせます。

◆講師：柏倉康夫氏 (仏文学者・放送大学名誉教授)

◆時間：14:00-15:30

◆会場：2階講堂

◆定員：180人 (先着)

◆対象：高校生以上

◆申込：3/11 (金) から

窓口・電話・HPで受付



堀口九萬一 (1865-1945)

## 冬の読書フェア

### 特別図書整理に伴う長期休館 & 貸出点数変更について

下記の長期休館に伴い、2/2 (火) ～ 2/21 (日) の間、貸出し点数を20点まで (内、視聴覚資料は6点まで) 拡大いたします。寒い冬はお家でゆっくと読書はいかがですか。ぜひご利用下さい。

館名	休館する期間
中央	2/22 (月) ～ 2/29 (月)
互尊文庫 西・南・北	2/16 (火) ～ 2/21 (日)
中之島・寺泊 栃尾・大河津	2/18 (木) ～ 2/22 (月)

平成28年1月1日

長岡市立中央図書館 編集・発行

長岡市学校町1-2-2 TEL. 0258-32-0658

メール: lib@city.nagaoka.niigata.jp